

今こそ
人間らしい
豊かさを

久石 譲さん × 長内 繁樹

|| 作曲家・指揮者 ||

|| 豊中市長 ||

令和3年(2021)4月から
日本センチュリー交響楽団の
首席客演指揮者を務める
久石譲さんをお迎えし、
文化の素晴らしさや役割を
語り合いました。

久石 譲さん
×
長内繁樹

皆さんの応援が
あつてこそそのオーケストラ

市長 豊中市を拠点とする日本センチュリー交響楽団の首席客演指揮者にご就任されたことを、心からうれしく思います。豊中にはどんなイメージをお持ちですか？

久石 服部緑地には10年以上前から訪れています。とても素晴らしい公園ですね。景観が良く、文化的な雰囲気、練習場があつて、上品な印象です。

市長 久石さんにそうおっしゃっていただけると、豊中のブランド力が上がるような気がします。

豊中では毎年秋に街中でさまざまな音楽イベントを楽しめる」と

よなか音楽月間」を開催しています。市内のいろいろな場所をお借りして、日本センチュリー交響楽団の皆さんや、さまざまな演奏家が発表できる場となっています。

久石 芸術や文化は地元の皆さんの応援があつてこそですから、そういった取り組みは素晴らしいです。

この楽団は、少数精鋭で伝統のある魅力あふれるオーケストラですので、上品で現代的な素晴らしいアプローチができると思います。皆さんに愛されるような演奏をモットーに、一緒に歩んでいけたら幸せですし、それを目標に努力したいです。

文化は人間ならではの営み

市長 久石さんが、名誉市民の山田洋次監督の映画作品「小さいうち」の音楽を手がけられたことを知り、不思議なご縁を感じました。

久石 山田監督とは映画「東京家族」からのお付き合いで、何回か仕事で一緒にさせていただきましたが、監督の素晴らしい人間性をとても尊敬しています。



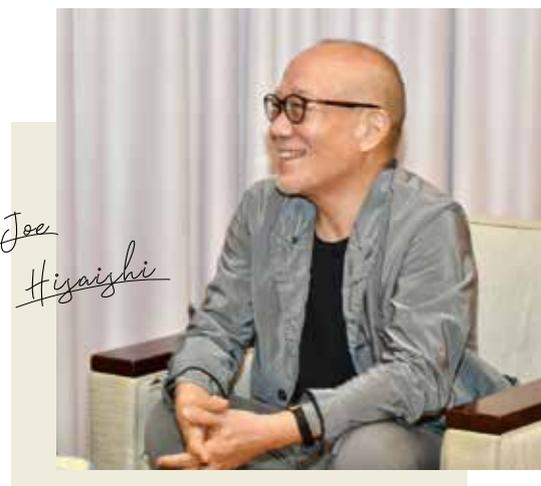
市長 今もなお続くコロナ禍の大変な状況にあつて精力的に表現活動を続けておられる、久石さんや山田監督とお話すると、こんな時だからこそ改めて文化と芸術が必要ではないかと思いました。

久石 本当にそのとおりです。生活していくことに精いっぱいになると、文化に時間やお金をかけられなくなりません。文化は特別なものではなく、日常の中で触れられる存在でないと、どんどん衰退してしまいます。そういう意味でいえば、文化は今まさに危機的な状況といえます。

市長 そうですね。華やかな音楽や



Shigeki Oyanai



Joe Hizaishi

美しい風景などで心が満たされていないと、それこそ病気に負けてしまいますよね。

久石 音楽を聴いて感動したり映画を見て心を動かされたりするのは、人間にのみ与えられた幸せなこと。それがあつて初めて、人間としての品格を保つことができるのだと思います。そのためにも、音楽が皆さんの身近に寄り添えるものであつてほしいと思います。

市長 今だからこそ、やはり人間の営みとしての文化・芸術、そして心の栄養が何より重要だと思えます。身近な場所でも、気軽に音楽を楽しむよう、市としてサポートしてい

きたいです。
久石 素晴らしいことですね。できることがあれば、協力させていただきたいと思えます。

市長 ありがとうございます。ところで、私は久石さんの曲をみんなで楽しめる新しい童謡のように感じていました。中でも、幼いわが子と一緒によく歌った「さんぽ」が特に心に残っているのですが、コロナ禍の今、市民の皆さんにおすすめしたい曲はありますか？

久石 「さんぽ」は、懐かしいですね。とてもシンプルで歌いやすいと思うので、ぜひ「さんぽ」をおすすめしてください。こんな時期だからこそ楽しく歌って、少しでも豊中市の皆さんが元気になっていただけると、とてもうれしいです。

市長 市民の皆さんと一緒に歌っ



久石 謙さん [作曲家・指揮者]

現代音楽の作曲家として活動をスタート。話題作の映画音楽を多数手掛け、平成16年(2004)には「新日本フィル・ワールド・ドリーム・オーケストラ(W.D.O.)」の音楽監督に就任。令和3年(2021)から日本センチュリー交響楽団首席客演指揮者を務めている。各国の名だたるオーケストラで定期的に指揮を振るなど、世界で活躍中。



て、市全体が元気になるような、そんな一年にしたいですね。今日は、貴重なお時間とお話をありがとうございました。